

2023年6月26日

大阪大学発ユニコーン輩出へ。シリコンバレーに連携拠点！ ～世界的アクセラレーターBerkeley SkyDeckの支援で加速～

【ポイント】

- ◆大阪大学と大阪大学ベンチャーキャピタル(株)は、米国シリコンバレーに大学発スタートアップ創出の連携拠点を開設。現地ベンチャーキャピタルとの連携を強化し、大阪大学発スタートアップを現地で創出していく。
- ◆大阪大学ベンチャーキャピタル(株)は、カリフォルニア大学バークレー校(以下、UC Berkeley)発の世界的なスタートアップアクセラレーター「Berkeley SkyDeck」とパートナー契約締結。同団体と日本の国立大学及びその関連会社との提携は初となる。
- ◆アクセラレーターは、スタートアップを成功させるために不可欠なサポートインフラである。スタートアップの成長に必要な要素には①資金②人材③サポートインフラ④コミュニティが挙げられ、海外現地で①～④の仕組みを構築・活用することで、現地でのスタートアップ創出を強化する。
- ◆米国シリコンバレーのエコシステムの中に大阪大学発スタートアップ、学生、研究者、大阪大学ベンチャーキャピタル(株)が入り込み研鑽することで、世界で活躍するユニコーン企業を輩出していく。

❖ 概要

大阪大学は、大阪大学ベンチャーキャピタル(株)(以下、OUVC)とともに、**米国シリコンバレーに大学発スタートアップ創出の連携拠点を開設しました。**現地ベンチャーキャピタルとの連携を強化し、現地で起業する学生・研究者を育成します。このため、OUVCは、6月1日、UC Berkeley発の世界的なスタートアップアクセラレーター「Berkeley SkyDeck」と、2023年11月からの「Innovation Partners Program」にOUVCの投資先・投資候補先となる大阪大学発スタートアップ(もしくは起業を計画するチーム)を派遣するパートナー契約を締結しました。



同団体は、大学発を中心としたディープテックスタートアップに対して世界有数の支援プログラムを提供しています。これまで同プログラムは、ユニコーン企業へと成長を遂げたものを含む世界で注目を集める数々のテクノロジースタートアップを輩出しており、**日本の国立大学及びその関連会社との提携は初めて**となります。すでに11月からのプログラムに派遣するスタートアップの選定が進んでおり、8月には最終候補を決定する予定です。

アクセラレーターとは、スタートアップに対しメンター(助言)機能や8週間程度の研修プログラムを提供するなどの支援を行うもので、スタートアップの急成長や成功には欠かせない存在です。

今後、同団体が提供するプログラムを、大阪大学発スタートアップや、その候補となる大阪大学の研究者、学生らが受講し、現地でのスタートアップを創出し、グローバルに競争力を持ったスタートアップへと育成していきます。

現在、日本では「スタートアップ5カ年計画」により国をあげてスタートアップの創出・発展に注力し、2022年度の大学発スタートアップの設立件数、国内スタートアップへの投資額はともに最多で活況です。

大阪大学とOUVCは、以前からスタートアップ創出・発展に力を入れており、研究成果の社会実装へとつなげています。今回の連携拠点設置やBerkeley SkyDeckとの提携により、イノベーションの聖地・米国シリコンバレーで培われたノウハウによるスタートアップへのサポートを強化し、シリコンバレーエコシステムに大阪大学の学生や研究者、大阪大学発スタートアップ、OUVCが入り込むことで、世界で活躍するユニコーン企業を大阪大学から輩出していきます。

※ 尚、上記の拠点開設、契約締結においてはJETRO(日本貿易振興機構)大阪本部、サンフランシスコ事務所より多大なサポートを頂きました。今後の活動も同機構と協力して進めてまいります。

❖ 高まるスタートアップへの期待と日本の課題

近年、日本においても、スタートアップや大学発スタートアップが多く誕生し、国内スタートアップ向け投資額も右肩上がり増加しています。

新産業創出への機運が高まる中、その状況を後押しするべく、国もスタートアップの支援拡大に乗り出しました。昨年策定された「スタートアップ育成 5 か年計画」では、スタートアップへの投資額を5年間かけて現在の 10 倍増となる 10 兆円規模に拡大するロードマップが示されました。さらに、将来的に、ユニコーン企業(創業 10 年以内で企業価値 10 億ドル超の非上場企業)を 100 社創出し、スタートアップを 10 万社創出することを目指しています。

日本をアジア最大のスタートアップハブとすることは、もはや産業界だけに限らず、日本全体が目指す目標です。しかし現状では、スタートアップの中でも特に力のあるユニコーン企業の輩出数やそのスピード、誕生した企業の市場価値は、諸外国と比べると低く、大きく差をつけられています。

スタートアップの成功には、①資金、②起業家を目指す人材、③サポートインフラ(メンター^{※1}、アクセラレーター、インキュベータ^{※2})、④コミュニティ の4つの要素(=スタートアップエコシステム)が必要であるといわれています。しかし、日本国内だけでその要素すべてをそろえるのはまだ難しく、起業後も国内だけでは市場が小さいという現状があります。

※1… スタートアップに対する助言役。起業経験者などがきめ細かく助言を行うことが望ましい。

※2… 新しいビジネスの起業家やスタートアップを支援する団体、組織

❖ シリコンバレーから大阪大学発ユニコーンを

このような日本の現状の一方、グーグルやアップル、フェイスブック、テスラなどの著名な企業を創出してきた米国シリコンバレーでは、スタートアップエコシステムが確立されており、世界でも突出したユニコーン企業を輩出し続けています。

今回、大阪大学と OUVC は、世界で大きな価値を創出するスタートアップを大阪大学から生み出すため、シリコンバレーのエコシステムの中に飛び込みます。

現地での大阪大学発スタートアップの拠点として、OUVC は 2023 年6月にシリコンバレーにオフィスを構え、シリコンバレーのコミュニティに人脈を持つ現地人材をスタッフとして配置しました。現地ベンチャーキャピタルとの連携を強化するなどしていきます。そして今回、サポートインフラ面の充実をはかるべく、世界有数のスタートアップアクセラレーター、Berkeley SkyDeck とパートナー契約を締結しました。

Berkeley SkyDeck は米国のカリフォルニア大学バークレー校発のアクセラレーターです。同団体が提供するアクセラレーションプログラムでは、カリフォルニア大学バークレー校が保有する世界トップクラスの教授陣、投資家、エグゼクティブアドバイザーのネットワークを活用した価値ある支援を受けることができます。また、プログラム内容の吸収だけにとどまらず、肌感覚で、シリコンバレーでの起業マインドの醸成やネットワーク構築ができるようになることも大きなメリットです。

この提携により、大阪大学と OUVC は、大阪大学発スタートアップや、起業を計画する学生、研究者チームを送り出すことで、日本国内にとどまらず、世界で素晴らしい価値を提供することのできるスタートアップ、さらにユニコーンとなる企業の輩出・成長を加速させていきます。